

寛政四年寺

社

調

帳

日高郡
天田組

寛政四年（一七九二年）子九月

神社調帳

日高郡
天田組

P.1

P.2

萬福寺	上富安村
円福寺	同
里神	同
氏神	同
牛ノ神森	同
愛宕権現	同
鳳生寺	下富安村
大溪寺	同
淨安寺	同
大專寺	同
善童子権現	同
九品寺	小松原村
法林寺	同
圓通寺	同

子安大明神	小松原村
大日森	同
往生寺	財部村
好淨寺	同
妙樂寺	同
王子権現	同
コノ処本文紙一枚脱落ス	
齋ノ神	同(丸山村)
地藏一社	同
遍照寺	島村
善妙寺	同
春日大明神	同
西本願寺御坊	御坊村
八幡宮	藺浦

淨國寺	菌浦
天性寺	同
常福寺	田井村
春日大明神	同
源行寺	名屋浦
船附明神	同
極樂寺	天田村
峠権現	同
円満寺	北塩屋浦
美人王子	同
法泉寺	猪野々村

西福寺	熊野村
熊野権現	同
安樂寺	野口村
聖徳太子宮	同
法林寺	同
春日大明神	同
薬師堂	同
明鏡寺	岩内村
春日大明神	同
王子権現	同
安養寺	財部村

◎ 一万福寺

山号院号等御座候

日高郡上富安村

一 浄土宗鎮西派日高郡小松原村九品寺末寺

一 開基の儀相分り不申候

一 寺内塔頭并寺領被下金等無御座候

一 薬師堂一軒 但式間四方

× 薬師堂ハ薬師谷ニアリシヲ移シタルモノカ 今境内ニ薬師堂ナク地藏堂アリ足切地藏ト称ス

一 境内御年貢地ニ御座候

但 東西拾貳間
南北九間半

一 寺附之山林壺ヶ所

但 長サ壺間
横八間

一 年頭御目見并継目御礼下申上候儀無御座候

一 殺生禁御證文無御座候

一 本堂建前三間四面にて御座候

万福寺 印

◎一

圓福寺

松憲山院号無御座候

同村

一 淨土宗西山派（五三二五五年）有田郡廣村法藏寺末寺

一 開基之儀天文年中湯川庄司湯川直光建立之由申傳候

一 寺内塔頭并寺領被下金等無御座候

一 境内御年貢地ニ而御座候 但東西拾三間半南北拾壹間

一 寺附之山林等無御座候

一 年頭御目見并繼目御被申上候儀無御座候

一 殺生禁證文無御座候

一 本堂建前四間四方

圓福寺
印

△一里神𦵏社

宮建前半四方 × 半間？次ノ処ニモカク記セリ

同村

一 御神𦵏無御座候

一 勸請時代相分り不申候

P.5

一 社領等無御座候

東西

一 境内御年貢地ニて御座候 但南北 三間半四方

一 山林等無御座候得共右社森林之内ニ松木等少々生立御座候

一 殺生禁御證文無御座候

一 神主者は無御座村方支配ニて御座候

一 氏神壹社

宮建前半四方

同 村

一 御神躰并勸請時代相分り不申候

一 社領無御座候

一 境内年貢地ニて御座候

但東西南北 三間半四方

一 山林等無御座候

一 殺生禁御證文者は無御座候

一 神主者は無御座村方支配ニて御座候

一 牛ノ神森

同 村

一 御神躰者は無御座候右森之松楠之木を牛神と拜ミ來り申候勿論勸請時代も相分り不申候

一 社領無御座候

一境内御年貢地ニて御座候

但東西南北式間
壺間半

一山林等無御座候

一殺生禁御證文者は無御座候

一神主者は無御座村方支配ニて御座候

×
愛宕ノ誤リカ
一安岩権現一社

宮建前壺間四方

同村

一御神躰無御座候

一勸請時代之儀相分り不申候

一社領無御座候

一境内御年貢地ニて御座候 但東西南北三間半四方

一山林等無御座候得共右社森之間ニ松木少々生立御座候

一殺生禁御證文無御座候

一神主者は無御座村方支配ニ御座候

庄屋

源兵衛

印

◎ 一鳳生寺

瑞雲山
院号無御座候

日高郡
下富安村

一 禪宗臨濟派にて若山新内江西寺末寺にて御座候處相對之上雜未仕
(七十八年)

一 開基の儀相分り不申候

一 寺内塔頭無御座候

一 寺領并被下金と申儀者無御座候

式丁四方小松山にて御座候

一 境内之山林等寺ノ廻にて高式石之處先年淺野紀伊守様御時代ニ被下置
候御寄進にて御書付式通所持藏在候境内凡三町四方御座候右御高式

右御免許狀者御座候得共境内ニ竹龍御座候残右御高の場所當時相分
り不申候

一 年頭御目見并繼目御礼等申上候儀無御座候
境内(岩ノ誤)

一 愛宕一社 建前式間二三間半

一 御神躰 木像

一 勸請時代年号等相分り不申候

一 愛染堂壺軒 建前式間四方

一 觀音堂壺軒 建前式間四方

一 釣鐘堂壺軒 建前壺間四方

一殺生禁御證文之無御座候
一本堂建前 三間ニ四間半

鳳生寺
印

一大溪寺

南谷山
院号無御座候

同村

一淨土宗鎮西派日高郡小松原村九品寺末寺

一開基者^は人代以前善譽秀珎を^{×不相知往古より有來申候}開山と申傳候得共年号等之儀相分り不申^條

一寺内塔頭并寺領被下金等無御座候

一境内御年貢地ニて御座候 但^{東西拾貳間}
南北八間

一年頭御目見并繼目御礼等申上候ノ儀無御座候

一殺生禁御證文無御座候

一本堂建前三間半四方

一寺附之山林等無御座候

大溪寺
印

◎ 一 淨安寺 院山号無御座候

同村

- 一 淨土宗鎮西派同村大溪寺末寺
- 一 開基之儀ハ相分り不申候代々道心者留守居仕候
- 一 寺内塔頭并寺領被下金無御座候
- 一 境内御年貢地ニて御座候 但 東西五間 南北六間
- 一 山林無御座候
- 一 年頭御目見并継目御被下等申上之儀無御座候
- 一 殺生禁御證文無御座候
- 一 本堂建前壱間半四方にて御座候

淨安寺 印

◎ P.12

一 大專寺 院山号無御座候

同村

- 一 淨土眞宗京都西本願寺派興正寺末寺海士郡和哥村性應寺下日高郡御坊付 但 先年ハ道場と書上候得共元文二己ノ年寺号奉願相濟申候 (一七三七年)
- 一 開基は文明年中蓮如上人開基之由申傳候 (一四六九〜八七年)
- 一 寺内塔頭并寺領被下金等無御座候

- 一 境内御年貢地にて御座候 但 東西 拾壹間
南北 八間
- 一 山林無御座候
- 一 年頭御目見并継目御札等申上候儀者無御座候^は
- 一 殺生禁御證文無御座候
- 一 本堂建前三間四方にて御座候

大專寺
印

一 善童子権現一社 建前壺間半四方 同 村

- 一 御身躰木像ニ而御座候由終ニ有仕候者も無御座候
- 一 勸請時代相分り不申候
- 一 社領等無御座候
- 一 神主無官壺人 野田源次
- 一 藥師堂壺軒 建前壺間半四方
- 一 境内無年貢地にて御座候 但 東西 拾五間
南北 五拾間
- 一 山林壺ヶ所右境内の内に御座候^{坪数？}
- 一 神主御目見仕來り不申候 但 松木雜木等少生立御座候^{壺丁四方 間数ニ認す}

- 一 寺社御奉行所直支配ニて御座候
- 一 殺生禁御證文無御座候
- 一 繼目御札ハ不仕候
- 一 年頭御目見從先規より仕來り申候
- 一 山林等無御座候
- 一 境内御年貢地ニて御座候 但 東西 三拾三間
南北 貳拾五間
- 一 寺内塔頭并寺領被下金等無御座候

一 開基者慶長年は(一五九六)一六一五年中相州鎌倉より宝譽と申長老熊野參詣之砌當地に留
り當寺を取立申候由に御座候入院□致鎮西派ニ相成申候



一 九品寺

淨土山
安養院

日高郡小松原村

- 一 長床壺軒建前式間ニ五間にて御座候
- 一 殺生禁御證文無御座候

神主 野田源次 印



一 法林寺

光山
院号無御座候

同 村

一 淨土宗鎮西派京都知恩院末寺

一 開基之儀者住蓮社存譽欽公と申候尤も年号者相分り不申候

一 寺内塔頭并寺領被下金等無御座候

一 境内御年貢地ニて御座候 但 東西三拾間
南北三拾間

一 山林等無御座候

一 年頭御目見并継目御礼等申上ノ儀無御座候

但宝曆拾貳午年奉願相済申候
(一七六二年)

一本堂建前九間四面ニ而御座候

一 鐘楼堂壹軒 但建前貳間半四方

一 觀音堂壹軒 但建前壹間半四面ニて御座候

右建立之時代相分り不申候

一 神明一社 但建前三尺四方

一 御神躰木像

一 勸請時代相分り不申候

九品寺

印
(納所)トス

- 一 殺生禁御證文無御座候
- 一本堂建前四間半ニ五間
- 一 鐘楼堂（八〇一年）老軒 但建前式間半四方
- 一 享和元年（八〇一年）西十二月寺社直支配被仰付候

法林寺
印

一 圓通寺 山号 院号 無御座候

同 村

但先年ハ道場と書上候（二七〇九年）処宝永六丑年寺号奉願相済申候

- 一 淨土眞宗京都西本願寺末寺日高郡御坊付
- 一 開基之儀者は本願寺第八代目蓮如上人開基ニて御座候由申傳候
- 一 寺内塔頭并寺領被下金等無御座候
- 一 境内御年貢地ニて御座候 但東西南北貳拾間づゝ
- 一 山林等無御座候
- 一 年頭御目見并繼目御礼申上候儀無御座候
- 一 殺生禁御證文無御座候
- 一本堂建前三間四面ニて御座候

圓通寺
印

一子安大明神

但貳社建前三尺四方ヅゝ同村

壹社

子安大明神

内

壹社

神明

一御身体木像之由申傳候得共神主も恐多く終ニ有之不申候

一御神躰御祓ニて御座候

一右貳社者勸請時代相分り不申候

一社領等無御座候

一神主無官壹人 塩崎左内

一境内年御貢ニて御座候

但東西貳拾參間
南北貳拾六間

一山林等無御座候但右境内ニ松木并雜木少々生立御座候

一神主御目見仕候儀者無御座候

一殺生禁御證文無御座候

一御輿堂壺軒 建前壺間半ニ式間

一釣鐘堂壺間 建前五尺ニ六尺

一長床壺間 建前式間に四間半

△一大日森社 建前一尺四寸四方 同村

一御神躰ハ無御座候

一勸請時代相分り不申候

一社領等無御座候

一神主等ハ前より無御座候村方支配ニ御座候

一境内御年貢地ニて御座候 但東西南北三間四方

P.20

一山林無御座候

一殺生禁御證文無御座候

庄屋三右エ門 印

◎一往生寺 宝永山 清光院

日高郡 財部村

一浄土宗鎮西派日高郡小松原村九品寺末寺

一開基は法灯国師ニて川上采女殿建立其後春貞と申坊主浄土宗ニ致帰依

×(持)住寺仕夫より代々浄土宗ニ御座候

一 寺内塔頭并寺領社下金無御座候

一 境内御年貢地ニて御座候 但東西拾七間
南北拾四間

一 山林等無御座候

一 年頭御目見并繼目御礼申上候儀無御座候

一 殺生禁御證文無御座候

一 本堂建前六間四面ニて御座候

一 藥師堂壺軒 建前壺間半四方

但建立の時代相分り不申候

往生寺
印

◎ 一

好淨寺

山号
院号無御座候

一 淨土宗京都西本願寺派興正寺末寺海士郡和哥村性應寺下日高郡御坊付

一 開基者は 不奉存候得共古來より有來り申候

一 寺内塔頭并寺領被下金等無御座候

一 境内御年貢地ニて御座候 但東西七間
南北拾四間

一 寺附之山林無御座候
一 年頭御目見并継目御礼申上候儀無御座候
一 殺生禁御證文無御座候
一 本堂建前貳間半二三間

好淨寺
印

◎ 一 妙樂寺 大福山
法花三昧院

但 當時無住ニ御座候

同 村

一天台宗海士郡和哥村雲蓋院末寺（一七五三年）

但 右本寺支配之儀者宝曆三酉年奉願相濟申候（一七五三年）

一 開基相知_レ不申候得共右妙樂寺之儀大日堂と称_唱へ同郡小池村ニ有之同

村十郎左エ門と申者致支配候處元文四未年（一七三九年）粉川御池坊弟子文成と申僧

讓受度旨尤本尊裏書ニ大福山妙樂寺と記し有之候ニ付右之山寺号相唱
申度旨願出候処右願之（一七四七年）通_リ相濟申候且右妙樂寺を同郡財部村江引移し
建立仕度との願延享四卯年奉願是又願之通_リ相濟候ニ付只今之所へ建

立仕候義ニ御座候（一七七三年）

一 右院号之儀安永貳巳年本寺雲蓋院奉願相濟申候（一七七三年）

一 寺内塔頭并寺領被下金等無御座候

一 境内御年貢地ニて御座候 但東西北貳拾間

一 寺附之山林無御座候

一 年頭御目見并継目御礼申上候儀無御座候

一 殺生禁御證文無御座候

一本堂者は無御座候

× コノ処ニ下ゲ紙アリ 曰ク 先年住持有之候付此所不用右歴代ハ外ニ歴代帳へ認出し

可申事

一 先年より無住ニて同郡吉原浦松見寺より支配仕候

庄屋

淺助

◎ 一 王子権現壱社 建前壱間壱間半 同 村

一 御神躰木像

一 勸請時代相分り不申候

一 社領無御座候

無御座候宮守山伏宝積院

一 神主無官老人善木

一 境内御年貢地ニ御座候

但東西北貳拾間

一山林等無御座候但右森少々雜木生立御座候

一神主御目見仕候儀無御座候

一殺生禁御證文無御座候

一長床壺軒 但式間ニ六間ニて御座候

× 次の紙破りて以下不明

× コノ処前文ノ紙破棄シテ不明 次齋神社ノ條同村トアレバ丸山村ノ神社ナルベシ
或ハ財部村王子權現ノ次ニテ或ハ財部村ノ神社ナラントモ考ヘラル 地藏一社ノ次
ニ右四社支配人云々ト記サレ 財部丸山ヲ一マトメニシテアルヤウナレド 丸山村
ニテハ三明寺西方寺等ノ大ナル寺アルモ記載ナシ サレバ丸山ハ天田組ニ非ズ 齋
ノ神今丸山ニ属スト雖モ當時財部ノ一部トシテ取扱レタルモノナルベシ

一神主御目見仕候儀無御座候

一殺生禁御證文無御座候

△ 一 齋ノ神壺社 建前當時無御座候 同 村

一御神躰石像ニて御座候

一勸請時代相分り不申候

一社領無御座候

無御座候支配人

△
一 地藏寺社

建前當時無御座候

同村

一 神主無官老人善六

一 境内無年貢地ニて御座候
但東西南北三間

一 山林等無御座候

一 神主御目見仕候儀無御座候

一 殺生禁御證文無御座候

一 御神躰石像ニて御座候

一 勸請時代相分り不申候

一 社領無御座候

一 神主無官老無御座候支配人善六

一 境内無年貢地ニて御座候
但東西南北六間

一 山林等無御座候

一 神主御目見仕候儀無御座候

一 殺生禁御證文無御座候

四社支配人
神主

善六
王子権現宮守
山伏名郎

◎ 一遍照寺
山号無御座候

日高郡
嶋村

但 先年ハ道場と書上候処 宝永六丑年寺号奉願相済申候

一 淨土眞宗京都西本願寺日高郡御坊付

P.28

一 開基者天文年中建立ニ由申傳候

一 寺内塔頭并寺領被下金無御座候

一 境内御年貢地ニ御座候 但 東西拾間
南北八間

一 寺附之山林等無御座候

一 殺生禁御證文無御座候

一 本堂建前三間半ニ四間

遍照寺
印

◎ 一 善妙寺
山号無御座候

一 淨土眞宗京都西本願寺末日高郡御坊付

一開基者永正六年（一五〇九年）ニ建立之由申傳候

一寺内塔頭并寺領被下金等無御座候

一境内御年貢地にて御座候 但東西拾五間
南北拾五間

一寺附之山林等無御座候

一年頭御目見并繼目御札申上候儀無御座候

一殺生禁御證文無御座候

一本堂建前三間四面

一鐘楼堂耄軒 但建前耄丈四方

善妙寺
印

◎ 一春日大明神耄社 建前耄間四方

一御神躰木像 但冠御裝束

一勸請時代相分り不申候

同
村

一天照皇太神宮 社式尺二三尺

一御神躰御祓

一勸請時代相分り不申候

一秋葉大権現

社式尺二三尺

一御神躰秋葉三尺坊

一勸請時代相分り不申候

一社領無御座候

一神主無官老人物兵衛

一境内無年貢地ニ御座候

但東西十五間
南北十五間

一山林等無御座候 但右境内ニ楠并雜木少々生立御座候

一神主御目見仕候儀無御座候

一殺生禁御證文無御座候

一長床壺軒 但式間ニ五間ニて御座候

神主

惣兵衛

印

□ 一 西本願寺御坊壺ヶ所

日高郡

御坊村

一開基は天文^(一五三二年)辰年湯川民部少輔直光建立之由

一寺内塔頭并寺領被下金等無御座候

一境内御年貢地ニて御座候

但東西三十拾式間
南北三十拾式間

但諸役御免之所にて御座候

一 寺附之山林無御座候

一 寺社御奉行所直御支配被仰付候者は宝曆拾貳午年（一七六二年）にて御座候一 鐘楼堂壺軒 但壺丈四方（一七一五年）
正徳五年未正月建立一 経藏 壺軒 但壺丈四方

是ハ大破ニおよび當時取除ケ御座候

一 客殿 壺軒 但三間に七間（一七三四年）

享保九年辰年建立

一 番所 壺軒 但貳間半ニ五間（一七三三年）

正徳三巳年建立

一 茶所 壺軒 但貳間ニ三間（一七一〇年）

宝永七寅年建立

一 末寺全所壺軒 但貳間半四方（一七二一年）

享保六丑年建立

一 諸講中長屋壺軒 但二間半ニ八間（一七三九年）

享保拾四酉年建立

一 留主居諸所壺軒 但三間半ニ六間

(一七〇二年)
元禄一五午年建立

一年頭御目見并継目御礼申上候儀無御座候

一殺生禁御證文無御座候

× コノ処次ノ紙トデチガへ前後ス 本書十二枚目ノ処コノ次ニツヅク重ネテ十二枚目ノ

本願寺ノ記載ヲコトニ書ス

一本堂建前拾間ニ拾間半

留守居

三宝寺

印

× コノ次十二枚目十三枚目八幡神社(藺浦)ノ條ナルコトトナル

◎

一淨國寺

山号院号無御座候

同*
浦

一淨土眞宗(四六九(一七八七)年)都西本願寺末寺日高郡御坊付

一開基は文明年中ニ建立之由

*

同浦トアルハ前條ニ藺浦八幡神社ノ記事ヲウケテ書ケルモノニシテ藺浦ノコトナリ

一寺内塔頭并寺領被下金等無御座候

一境内御年貢地ニて御座候

但東西八間南北三拾間

一寺附之山林等無御座候

一年頭御目見并継目御礼申上ノ儀無御座候

一 殺生禁御證文無御座候

一本堂建前三間四面

但再建者宝曆七五九年九卯年ニて御座候

淨國寺
印

◎ 一天性寺山号無御座候

同 浦

一 淨土眞宗京都西本願寺派興正寺末寺海士郡和哥村性應寺下 日高郡御坊付

一 開基者は（一四七三年）文明五年建立之由

一 寺内塔頭并寺領被下金無御座候

一 境内御年貢地ニて御座候 但東西拾八間

一 寺附の山林無御座候

一 年頭御目見繼目御礼申上ノ儀無御座候

一 殺生禁御證文無御座候

一本堂建前三間四面

天性寺
印

一 常福寺

山号無御座候
院号無御座候

日高郡 田井村

一 淨土眞宗京都西本願寺派興正寺末寺海士郡和哥村性應寺下 日高郡御

坊付

一 開基は天文四年(一五三五年)淨西と申僧開基仕候由申傳へ候

一 寺内塔頭并寺領被下金等無御座候

一 境内御年貢地にて御座候 但東西拾貳間
南北拾參間

一 寺附之山林無御座候

一 年頭御目見并継目御礼申上ノ儀無御座候

一 殺生禁御證文無御座候

一 本堂建前三間半四面

常福寺 印

◎ 一 春日大明神社

建前八尺四方

同 村

一 御神体但冠裝束座像之木像ニ而御座候

一 勸請時代相分り不申候

一 社領無御座候

一 神主ハ無御座村方支配ニて御座候
一 境内御年貢地ニて御座候 但拾四間四方

一 山林等無御座候

一 殺生禁御證文無御座候

一 長床壺軒 建前式間に五間

庄屋

幾右衛門 印

右社ニ神主壺人有之ノ者元禄調ニも有之書上安永五申年屋根がへニても神主所にて願
趣ニ候旨吟味しと 神主認メ出し□□

◎ 一 源行寺 山号 院号 無御座候

日高郡名屋浦

一 淨土眞宗京都西本願寺末寺日高郡御坊付

一 開基は蓮如上人文明(二四六九〇八七年)年中之開基ニ而御座候

一 寺内塔頭并寺領被下金等無御座候

一 境内御年貢地ニて御座候 但東西南北 式拾壺間 拾七間

一 寺附之山林無御座候

一 鐘樓堂壺軒 但壺間四方

一 殺生禁御證文無御座候

一本堂建前三間四方

安永三年十月再建

源行寺
印

◎ 一 船附明神壺社

建前四尺四方

同 浦

一 御神体木像

但座像 壺躰は冠御装束
壺躰は女官御装束

一 勸請時代元和年中(一六一五〜二四年)之由申傳候

一 大海神壺社

一 御神体は御幣

一 勸請時代元文三年(一七八年)午正月

一 社領無御座候

一 拜殿 壺軒 建前八尺二式間

一 神樂所壺軒 建前壺軒半二三間

一 境内御年貢地ニて御座候 但東西八間
南北十四間

一 神主無官壺人武右エ門

但 先年ハ神主無御座候処明和三戌年(一七八三年)神主之儀奉願御□候?

一 山林等無御座候

一 神主御目見仕來り不申候

一 殺生禁御證文無御座候

神主

武右衛門

一 極樂寺

青能山
院号無御座候

日高郡
天田村

一 淨土宗鎮西派日高郡小松原村九品寺末寺

一 開基者（は）相分り不申候得共往古より有來申候

一 寺内塔頭并寺領被下金等無御座候

一 境内御年貢地にて御座候

但（東）西（西）拾八間
南北拾七間

一 寺附之山林等無御座候

一 年頭御目見并繼目御礼申上候儀無御座候

一 禁生禁證文無御座候

一 本堂建前三間二三間半

極樂寺
印

一 峠権現壺社

建前三尺四方

同 村

一 御神体立像 烏帽子冠これ御装束

一 勸請時代相分り不申候

一 社領無御座候

一 神主は無御座村方支配にて御座候

一 境内者野山(は)にて御座候

但東西北西 貳拾五間
南北 貳拾六間

一 山林等無御座候
少し御座候

一 殺生禁御證文無御座候

庄屋
弥次兵衛
印

一 圓滿寺

山号 院号 無御座候

日高郡
北塩屋浦

一 浄土真宗(二四七五年)京都西本願寺末寺日高郡御坊付

一 開基は文明七年草創仕候由申傳候

一 寺内塔頭并寺領被下金等無御座候

一 境内御年貢地にて御座候 但東西 拾六間

一山林等は無御座候

一年頭御目見并継目御礼申上ノ儀無御座候

一釣鐘堂壺軒建前壺間半四方

享保七十一年七建立

一殺生禁御證文無御座候

一本堂建前六間二六間

圓滿寺
印

◎

一

美人王子壺社

建前壺間半四方

同

浦

一御神躰木像之座像

一勸請時代相分り不申候

一境内里神壺社建前三尺四方

一御神躰は無御座候

一勸請時代相分り不申候

一長床壺軒建前式間二五間

一御輿堂壺軒建前壺間半四方

一社領無御座候

一 神主無官壹人弥兵衛

一 境内御年貢地^{無高地に而}には無御座候野山端にて御座候

但 東西 百貳拾間
南北 貳拾六間

一 山林等無御座候得共右境内に松木少々生立御座候

一 神主御目見仕候儀無御座候

一 殺生禁御證文無御座候

神主

弥兵衛

印

◎

一 法泉寺

玉光山
院号無御座候

北塩屋之内

猪野々村

但 山号之得享保十巳年奉願相濟申候

一 浄土宗鎮鎮西派日高郡小松原村九品寺末寺

(六十五、二十四年)

一 開基は故春と申僧元和年中建立仕候由申傳候

一 寺内塔頭并寺領被下金等無御座候

一 境内御年貢地ニ而御座候

但 東西 拾五間
南北 拾間

一 寺附之山林等無御座候

一 年頭御目見并継目御礼申上ノ儀無御座候

一 殺生禁御證文無御座候
一本堂建前三間二三間半
一 藥師堂壱間 建前壱間四方

法泉寺
印

◎ 一 西福寺 西陽院 院号無御座候 日高郡 熊野村

一 淨土宗鎮西派日高郡小松原村九品寺末寺
一 開基之儀相分り不申候
一 寺内塔頭并寺領被下金等無御座候
一 境内御年貢地ニて御座候 但 東西九間
南北八間
一 寺附之山林 少し 無御座候
一 年頭御目見并繼目御礼申上儀無御座候
一 殺生禁御證文無御座候
一本堂建前三間四面

西福寺
印

一 熊野権現四社

同村

大宮殿

壺社

建前三尺五寸ニ四尺

内

一 御神体秘神ニて終有仕候者無御座候

一 勸請時代相分り不申候

一ノ御前壺社

建前四尺五寸ニ五尺

一 御神躰右同所

一 勸請時代右同所

本山

壺社

建前壺間ニ式間

一 御神躰右同所

一 勸請時代右同所

大和御前壺社

建前四尺ニ五尺

一 御神躰右同所

一 勸請時代右同所

一末社四社

内

秋葉権現壺社

建前壺尺六寸ニ壺尺八寸

- 王子権現壺社 建前右同所
- 子安権現壺社 建前右同所
- 祇園午頭天王壺社 建前右同所
- 一右四社共御神祓秘神ニて終ニ有仕候義無御座候
- 一右四社勸請時代相分り不申候
- 一長床式軒 但式間ニ四間半ヅゝ御座候
- 一社領無御座候
- 一御供米拾式石宝(一七〇五年)酉年より年々被下候
- 一神主無官壺人中村源之丞
- 一祢宜四人
- 一~~社人三人~~
- 一境内無年貢地ニて御座候 但東西百五十間
南北百間
- 但し右境内に杉桧松苗ニて外雜木生立御座候
- 一神主年頭御礼仕來り申候
- 一殺生禁御制札證文(七十三三年)此御座候
- 享保八卯年二月被下置候(?日)
- 一山林等無御座候

一 安樂寺

山号無御座候
院号無御座候

日高郡
野口村

一 淨土眞宗京都西本願寺末寺日高郡御坊付

一 開基者はつ四六九八年文明年中蓮如上人之開基

一 寺内塔頭并寺領被下金等無御座候

一 境内御年貢地にて御座候 但東西九間南北拾間

一 山林壺ヶ所往古より無年貢地にて御座候

一 年頭御目見并繼目御礼申上ノ儀無御座候

一 寺社御奉行所直支配にて御座候

但天明三八外十二月ニ被仰候

一 殺生禁御證文無御座候

一 鐘樓堂壺軒 建前壺丈四方

一 本堂建前三間四方

安樂寺

印

◎ 一 聖徳太子宫 壹社

建前 四尺五寸二
四尺八寸

同 村

一 御神躰木像

座像冠御装束
四拾貳山木之御姿と申傳へ候

一 勸請時代相分り不申候・
境内

一 小社 壹社 建前三尺ニ壹尺八寸

一 御神躰 戎大黒

一 勸請時代相分り不申候

一 境内野山無年貢地にて松木等少々生立御座候

但 東西 貳拾五間
南北 五拾 間

一 社領無御座候

一 神主無官 壹人 藤兵衛

一 山林等は無御座候

一 神主御目見仕儀無御座候

一 殺生禁御證文無御座候

一 天保六年未二月寺社直支配被仰候

神主伊藤実已^(?印)

×
コノ線ノ処ニ神主藤兵衛とし捺印ありしも
貼紙し伊藤実とす
本文神主の条訂正を要すべきか

◎ 一 法林寺

山号 無御座候
院号

(上野口)
同

村

一 淨土眞宗^京都^西本願寺日高郡御坊付

一 開基は 承應二年建立仕候由申傳候

× 承應ノ誤リ(芝口)

一 寺内塔頭并寺領被下金等無御座候

一 境内御年貢地ニて御座候 但^{東西} 貳拾三間
南北 貳拾壹間半

一 寺附之山林無御座候

一 年頭御目見并継目御礼申上儀無御座候

一 鐘楼堂 壱軒 但壱丈四方

一 殺生禁御證文無御座候

一 本堂 建前三間四面

法林寺 印

P.53

◎ 一 春日大明神 壱社

建前六尺

同 村

一 御神躰木像四躰

武雷神

立像冠御裝束鉾御持

×フツヌシ(經津)命？

座像冠御裝束笏御持

〔野口村誌稿〕
：清水章博

□主命

天津児屋根命 右同所御手ニ廉ヲ御□へ

座像

姫ノ御姿御裝束

一 勸請時代相分り不申候

一 社領無御座候

一 神主無官壺人市平

一 境内無年貢地ニ御座候

但東北西北拾九間

一 山林無御座候

一 神主御目見仕來り不申候

一 長床壺軒 但四間半ニ弍間

一 殺生禁御證文無御座候

神主

市平印

△藥師堂壺軒

一本尊藥師如来

建前弍間四方

同村

- 一 脇立阿弥陀観音
- 一 開基之時代相分り不申候
- 一 御年貢地ニて御座候
但東西五間
南北四間半
- 一 村方支配ニ御座候

庄屋

久左エ門

印

同

彦次郎

印

◎

一 明鏡寺

山号無御座候
院号無御座候

日高郡

岩内村

但先年ハ道場と書上候処宝永六丑年奉願寺号相濟申し候

- 一 淨土眞宗京都西本願寺末寺日高郡御坊付

- 一 開基者相分り不申候

- 一 寺内塔頭并寺領被下金等無御座候

- 一 境内御年貢地ニ御座候

但東西拾壺間
南北拾壺間

- 一 寺附之山林無御座候

一年頭御目見并継目御礼申上候儀無御座候
一殺生禁御證文にて御座候
一本堂建前三間四方

明鏡寺
印

◎ 一春日大明神壺社 建前四尺二五尺 同村

一御神躰木像冠御裝束
一勸請時代相分り不申候
一社領無御座候
一神主無官壺人左次兵衛

一境内無年貢地野山端にて御座候 但東西南北四十六間

右境内ニ松木并ニ雜木にて生立御座候

一山林等無御座候
一神主御目見仕候儀無御座候
一殺生禁御證文無御座候

神主
左次兵衛

△一王子権現壺社

建前式尺四方

同村

- 一御神躰木像冠御装束
- 一勸請時代相分り不申候
- 一神主無御座村方支配ニて御座候
- 一社領無御座候

一境内無年貢地野山端ニて御座候

但
東北
西南
四間

一山林等無御座候

一殺生禁御證文無御座候

庄屋

良右エ門
印

× 此記事御坊本願寺分ノ終リニツヅクモノトデカヘノ時前後シタモノト見エ

一本堂建前拾間ニ拾間半

留守居

三宝寺
印

◎一八幡宮壺社

建前式間半ニ壺間半

日高郡
藪浦

座像ノ所万年筆ニテ消シタリ 誤寫ニヤ

P.58

一御神躰座像 但冠御裝束ニテ御座候

一左脇立神功后皇立像

× 皇后の誤

一右脇立竹内宿祢立像

一勸請時代相分り不申候

一宿祢明神壺社 建前貳尺四方

一御神躰鏡一面

一勸請時代相分り不申候

一稻荷明神壺社 建前貳尺四方

一御神躰 倉稻魂

一勸 請時代元文五年辰三月

一舩玉神壺社 建前貳尺四方

一御神躰 猿田彦命

一勸請時代寛永三年午六月

一秋葉權現壺社

P.59

一御神躰 秋葉三尺坊

一勸請時代安永五年申五月

一天満天神壺社 建前貳尺四方

一 御神躰菅照相御姿

一 勸請時代寛政三年(一七九一年)亥九月

一 社領無御座候

一 神主有無官有無壺人小竹但馬

是(一七七九年)ハ安永八亥年京都吉田家より相済申候

一 境内御免許地ニて御座候 但東西南北四拾間

一 山林等無御座候

一 神主御目見仕候(一七七九年)儀無御座候

一 殺生禁御證文寛永九年九月以戴仕候

一 寺社奉行所直御支配

(一七八四年)天明四年辰十二月被仰付候

一 拜殿壺ヶ所 但(一七八四年)式間四方

一 長床壺軒 式間半ニ五間半

神主
小竹但馬
印

一 安養寺 山号
院号

日高郡
財部村

但穢多道場ニて御座候住持も穢多坊ニ而御座候

一 淨土眞宗京都西本願寺末寺日高郡御坊付

一 開基之儀相知レ不申候

一 寺内塔頭并寺領被下金等無御座候

一 境内御年貢地ニて御座候 但東西九間
南北八間

一 寺附之山林等無御座候

~~一 殺生禁御證文無御座候~~

一 本堂建前式間半二三間

安養寺
印

右之通ニ御座候已上

日高郡天田組大庄屋

中村善次兵衛

本書原本は美濃型仙花紙三十六枚許りのもので、元天田組杖突塩崎元左衛門の所藏。しかる内原王子神官塩崎爲一氏より借りて之を写す。

× 原本朱字にて訂正せるところ、朱字の訂正のまゝを筆寫すといへども、
の部は余の注意書なり。

本書原本中紙を破りとして脱落せるところあり、綴ぢかへに當つて前後したる所あり。今前後せるまゝ筆寫せ里。みるもの其心せられよ。

昭和^{一九五〇年}二十五年八月十五日

芝口 常楠

本書原本については芝口氏ノ後記に詳しければ記さず。これは芝口氏の寫本より寫したるものなり。

（一九五一年）
昭和二十六年三月十八日

清水 長一郎

活字化を終わって

- ・ 本書は毛筆でB-4和紙に筆写し、中折して綴じ製本したB-5和本。
- ・ 本書は『御坊市史』（昭和五十六年）・『美浜町』（平成三年）の通史編宗教の部に一部引用されているが、史料編に記載されていない。
- ・ 寺社の上の記号、◎・△など何を意味するものか判らない。
- ・ 貴賤語を含む箇所があるので取扱に注意されたい。
- ・ 届出人及び寺社印を筆写しているが省略し印とした。

平成二十三年（二〇一一）年一月十三日（木）

清水 章博